

呼吸器外科



診療科長
澤井 聡

専門医資格等

日本呼吸器外科学会
専門医・指導医・評議員
呼吸器外科専門医
日本外科学会専門医
日本呼吸器内視鏡学会
気管支鏡専門医・指導医
滋賀医科大学医学博士

専門分野

呼吸器外科全般

| スタッフ |

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
呼吸器外科医長	橋本 雅之	日本外科学会外科専門医・指導医 日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医・評議員 日本呼吸器外科学会ロボット支援手術プロクター 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 肺がんCT検診認定機構肺がんCT検診認定医 INTUITIVE社認定ダ・ヴィンチコンソール術者 滋賀医科大学呼吸器外科非常勤講師（診療）	呼吸器外科全般	呼吸器外科 ロボット手術
医師	余田 誠		呼吸器外科全般	
医師	賀来 良輔	日本外科学会外科専門医 日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 INTUITIVE社認定ダ・ヴィンチコンソール術者 滋賀医科大学呼吸器外科非常勤講師 滋賀医科大学医学博士	呼吸器外科全般	呼吸器外科 ロボット手術

| 令和4年度の主な取組 |

認定施設

- ・日本呼吸器外科基幹施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会認定施設

クリティカルパスは術前・術後に分け、手術症例の大半に適応している。

- ・縦隔鏡検査 3日間
- ・術前（標準） 術前日～術当日
- ・術前（長期） 術7日前～術当日（術前へパリン化など）
- ・術後（短期） 術直後～7病日
- ・術後（標準） 術直後～9病日
- ・術後（長期） 術直後～11病日

その他、気管支鏡検査、化学療法等は呼吸器内科のクリティカルパスを適応している。

令和4年度の手術件数の90%は胸腔鏡手術で、そのうちロボット支援下手術は24件と例年より増加した。また、根治度と肺機能温存を考慮した区域切除（難易度の高い複雑区域切除を多く含む）が27件と増加した。その他、術前導入化学療法や術後補助化学療法など、最新の知見に基づいた治療（分子標的治療やICI治療）も積極的に行っている。

引き続き患者に優しい医療に努めて参りたい。

| 診療実績 |

呼吸器外科入院患者数

	2021年度	2022年度
1日平均患者数（名）	9.2	9.0
新入院患者数（名）	281	284
平均在院日数（日）	11.4	11.3

呼吸器外科外来患者数

	2021年度	2022年度
1日平均患者数（名）	12.6	12.2

主な手術・検査の件数（2022年度）

手術（全身麻酔）	174件	転移性肺腫瘍手術	18件
手術（全身麻酔）（ロボット支援下）	24件	縦隔腫瘍手術	18件
肺癌手術（診断含む）	105件	気胸手術	13件

| 学術活動報告（学会・研究発表など） |

発表年月日	発表学会
演題名 等 / 演者（下線は当院所属）	
2022.05.20	第39回日本呼吸器外科学会学術集会
「ロボット支援下肺葉切除術におけるCOVID-19感染症の影響について」	
橋本 雅之、余田 誠、武田 恵子、大塩麻友美、澤井 聡	

発表年月日 演題名 等 / 演者 (下線は当院所属)	発表学会
2022.05.20	第39回日本呼吸器外科学会学術集会
「肺腺癌術後再発に対しニボルマブ・イピリムマブ併用療法後、著効を示すも自己免疫性脳炎を発症した1例」 余田 誠、武田 恵子、橋本 雅之、大塩麻友美、澤井 聡	
2022.12.01	第63回日本肺癌学会学術集会
「癌性腹膜炎・乳び腹水に対し腹水濾過濃縮再静注法長期頻回施行が治療継続に有効であった再発肺癌の一例」 余田 誠、賀来 良輔、橋本 雅之、大塩麻友美、澤井 聡	

| 投稿論文など |

論文種類 / タイトル / 著書・雑誌名, 巻, 号, ページ, 発行年月, 出版社 著者 (下線は当院所属)
<p>原著論文</p> <p>術前未診断であった肺悪性腫瘍に対するロボット支援胸腔鏡下肺葉切除の検討 日本呼吸器外科学会雑誌, 36, 5, 498~503, 2022.07.01, 日本呼吸器外科学会 橋本 雅之、余田 誠、武田 恵子、大塩麻友美、澤井 聡</p>
<p>原著論文</p> <p>Treatment for Bronchial Fistula at the Bronchial Membrane with Extensive Postoperative Ischemic Bronchitis : Combination of a Free Pericardial Fat Pad and Muscle Flaps J Clin Med case Stud., 7, 4, 1-6, 2022.05 Hashimoto M, Yoden M, Takeda K, Kaku R, Oshio M, Sawai S</p>